

ウ 宇治支援学校の「地域学習」について

「各教科等を合わせた指導」を実践する際に、本校では、市街地にある立地条件を生かして、地域の様々な人の協力を得たり、場所を活用したりして実践する地域社会と協働した授業に積極的に取り組んでおり、これを「地域学習」と呼んでいます。こうした地域の様々な資源の開発と、それらを授業者のニーズに合わせてマッチングすること、地域の外部機関等との連絡・調整が「地域学習支援担当」の主な役割となります。

今年度、本校では改めて宇治支援学校の「地域学習」として、以下の観点を押さえました。

- ① 「地域について学ぶ」
- ② 「子ども達の将来の生活の質を高めること」
- ③ 「障害のある子ども達への正しい理解を広げること」

そして、こうした観点を日々の授業の中にしっかりと位置付けることが「地域学習」の中で力を発揮することにつながると考えています。

（「地域学習」の詳細については後述）。



（6）「喜びはともにあること」

「喜びはともにあること」これは、宇治支援学校の校歌の曲名でもあり、また、本校の学校理念でもあります。私たちは、宇治支援学校に学ぶ子ども達に、この地域社会の中で、一人のかけがえのない人として、自分を大切にし、多くの人とお互いを認め合い、支え合いながら精一杯生きていく力をはぐくむことに加えて、地域社会につながり、貢献できる大人へと成長してほしいという願いがあります。そして、地域社会の中に、こうした考え方を具体的な取組をとおして発信することが私たちの責任であると考えています。そのために、一つ一つの授業を大切にすることは勿論ですが、地域との連携、地域への発信などを大切にされた学校組織の在り方、地域との協働を実現する施設設備の在り方など、全ての発想は、「喜びはともにあること」という学校の理念に向けて収斂していくのです。